

活動報告書

団体名：NPO相模原こもれび

活動場所	近郊緑地特別保存地区「木もれびの森」活動地		記録者	白川 泰嗣
活動日時	令和5年12月9日（土）9時00分～12時00分	天気	晴れ 16℃ 56%	
参加者	安達、伊藤、江成、小俣、川口、北村、黒岩、白川、園田、田中、田村、中尾、西原、野口、平野、本田、松浦、目黒（一）、目黒（奈）、学生：高橋			計20名
活動内容	下草刈り、伐木			
使用道具	手鋸、ナタ、ショベル、熊手			
機器操作者	刈払い機		チェーンソー	
	黒岩、園田、田村、中尾、西原、平野、目黒（一）		白川	
区域	B地区「どんぐりの里」、B地区道路沿い			
作業内容	①下草刈り、②伐木			



刈払機に、カッター(上)とスパーサ(裏)を装着した



伐木後に枝払いした材を、整理する様子



要望を受け、常緑広葉樹を小さく刈込させていただいた



休憩時には、会員の自家製「ゆず茶」が振舞われた

次回の予定：定例活動9:00～

12月17日（日）イヌシデ広場集合

12月27日（水）イヌシデ広場集合

イベント：

1月13日（土）森開き

1月20日（土）新年会

☆ボランティア募集・経験不問☆

第1土曜、2土曜、3日曜、4水曜の中から好きな日の午前に参加可。活動日の朝9:00前に長袖で来て下さい。

報告事項・トピックス

●地面スレスレに下草刈りをすると土を噛んでしまったり小石を飛ばしてしまい刃を痛める懸念があったが、スパーサーを試してみたところ機器の自重を地面に預けることができ、均質化に加え効率化や心身への負荷低減も期待できることが分かった。絡み付くツルに対しては、カッターを装着してみたところ、一定の効果を得ることができた。

●榊（サカキ）や山茶花（サザンカ）はツバキ科の常緑広葉樹で日本固有種ではあるが、要望を受け、小さく刈込させていただいた。

●休憩時には、会員の自家製「ゆず茶」が振舞われた。冷えた身体を温めることができ、糖分を摂取することで疲労を回復することができた。以上